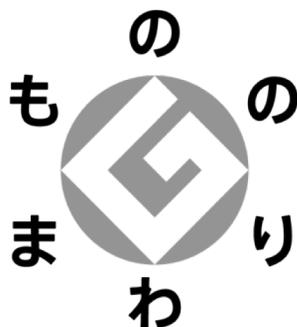


報道関係者 各位

2021年12月10日
公益財団法人日本デザイン振興会

ロングライフデザイン賞受賞展を12月23日(木)より開催 スタンダード・デザイン22点の「まわりにあること」を紹介



公益財団法人日本デザイン振興会(会長:川上元美、所在地:東京都港区)は、最新のグッドデザイン・ロングライフデザイン賞受賞作を紹介する企画展「ロングライフデザイン賞2021 もののまわり」を、12月23日(木)からグッドデザイン丸の内で開催します。

「ものまわり」展では、2021年度グッドデザイン・ロングライフデザイン賞を受賞した22点のデザインを出展・紹介します。

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞は、長年にわたって人々の支持を受けて活躍し続けるデザインに贈られる賞です。対象となるデザインは、商品・建築・コンテンツ・サービスなどです。時代の変化とともに次々と新しいデザインが生まれてくる中でも、変わらずに愛されるデザインにはそれだけの理由があります。

今回の企画展では、受賞デザインの展示とともに、「ものまわりを明らかにする」視点に立って、そのデザインが長年にわたって存在し続けている理由や、そのデザインによりもたらされたことなどを、独自の取材に基づいて、展示とタブロイドペーパーにより紹介します。

これらにより、変化の激しい時代や社会にあっても、暮らしのさまざまなところで人々から愛され、これから先も生き続けていくであろうデザインが持っている力を明らかにします。

会期: 2021年12月23日(木)~2022年1月19日(水)

12月29日(水)~2022年1月7日(金)は年末年始休館

会場: グッドデザイン丸の内(GOOD DESIGN Marunouchi)

東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル1階

開場時間帯: 11時~20時

入場料: 無料



企画: 公益財団法人日本デザイン振興会

企画協力 / 展示・媒体デザイン / 取材: D&DEPARTMENT PROJECT

※「ものまわり」は、D&DEPARTMENT PROJECTの登録商標です。

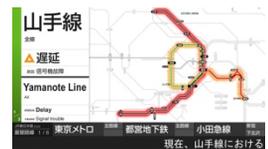
一般からのお問い合わせ: 公益財団法人日本デザイン振興会 ロングライフデザイン賞事務局

Tel: 03-6743-3777

E-mail: info@help.g-mark.org

「ロングライフデザイン賞2021 もののまわり」展で紹介されるデザイン／全22点
(カッコ内表記は受賞者名)

- ・マルス ルモグラフ 高級鉛筆(ステッドラー日本株式会社)
- ・ほぼ日手帳(株式会社ほぼ日)
- ・WASARA(株式会社WASARA)
- ・めいぼく椀シリーズ(菌部産業株式会社+有限会社クラフト木の実+神奈川県工芸指導所)
- ・kaico ケトル(昌栄工業株式会社)
- ・MMP型、MMZ型(タイガー魔法瓶株式会社)
- ・料理用温度計 5496B(株式会社タニタ)
- ・ポールグリップドライバー(株式会社ベッセル+株式会社ベッセル工業)
- ・NAGAOKA カートリッジ MPシリーズ(株式会社ナガオカ)
- ・焚火台(株式会社スノーピーク)
- ・アディダスオリジナルス スタンスミス(アディダス ジャパン株式会社)
- ・ザ・グリーンファン(パルミュージダ株式会社)
- ・メトロクス リキストール(株式会社メトロポリタンギャラリー)
- ・ハイゼット(ダイハツ工業株式会社) ※
- ・異常時案内用ディスプレイ(株式会社日立製作所+東日本旅客鉄道株式会社) ※
- ・和光のショーウインドウ(株式会社和光) ※
- ・石巻工房(株式会社石巻工房)
- ・トーキョーバイク(株式会社トーキョーバイク) ※
- ・ムーバス(武蔵野市) ※
- ・QRコード(株式会社デンソー+株式会社デンソーウェブ)
- ・放送大学(放送大学学園) ※
- ・横浜港大さん橋国際客船ターミナル(横浜市) ※



各デザインの詳細は別紙をご参照ください。
なお※は会場での実物展示はありません。

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞とは



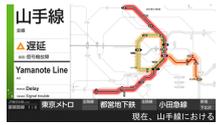
長年にわたってユーザーから支持されている商品・建築・コンテンツ・サービスなどに贈られるグッドデザイン賞です。スクラップ・アンド・ビルドが多い日本において、時代や流行の変化によらず、これまで長く人々に愛され、今後も変わらずに生き続けると考えられるデザインの価値をたたえるとともに、そのつくり手を顕彰します。1980年の開始以来、数多くのスタンダード・デザインの銘品に贈られてきました。

2021年度審査委員: 安次富 隆、齋藤精一、藤本幸三、柳沼周子

本リリースに記載のスケジュール、予定内容や名称などは今後変更される場合があります。



受賞番号	分野名	固有名称	受賞企業	概要
21L00001	鉛筆	マルス ルモグラフィ 高級鉛筆	ステッドラー日本株式会社	世界中のデザインや製図・描画のプロから長年にわたり愛用されている鉛筆。数々のデザイン、建築物、機械設備、絵画を生み出す第一歩を支えてきた。デザインという行為に向き合うすべての人に向けたベーシックなツールであり、90年以上変わらないブランドアイコンである。
21L00002	手帳	ほぼ日手帳	株式会社ほぼ日	うれしかったこと、悲しかったこと、仕事のこと、なんでもない日のこと、これからのこと……いろいろなことを書き込めば、自分が主人公の一冊ができる。「LIFEのBOOK」をコンセプトとする、生活やスタイルに合わせて自由に使える手帳。
21L00003	紙製食器（非木材）	WASARA	株式会社WASARA	非木材紙でできた食器で、手に持ったときの感触や、唇に触れたときの感覚を大切にしている。持ちやすさを追求した有機的なフォルムは、人間の手の曲線にもとづいてつくられており、自然に手になじみ、手にする人の所作さえ美しく見せる。
21L00004	木製食器（お椀）	めいぼく椀シリーズ	菌部産業株式会社＋有限公司クラフト木の実＋神奈川県工芸指導所	おいしいご飯をもっとおいしくするためにデザインされたお椀。バリエーション豊かなものづくりと木に備わっている愉しさが、食事をよりおいしく感じさせる。笑顔でご飯を食べたい人々のための、森と食卓をつなぐ食器である。
21L00005	珪瑯キッチン用品	kaico ケトル	昌栄工業株式会社	日本のこの工場ではできないものづくりを追求して生まれた珪瑯の製品群「kaico」では、使いやすく誠実な道具を生む行為を産業として持続させるために、製造者、販売者、デザイナーが日々協働を続けている。その代表的な製品であるケトルは、「清潔」「水をおいしくする」「保温力」など、珪瑯の特性を最大限に活かしてデザインされている。
21L00006	真空断熱ボトル	MMP型、MMZ型	タイガー魔法瓶株式会社	携帯魔法瓶を使うときは、飲料をコップに移すのが通常であったが、パーソナル使用を前提に「直飲み」ができるプロダクトを1991年に提案。その後、幾度かのモデル改良を繰り返して、2008年にリリースされたのがこのMMP型である。現在も同様の形状が各メーカーから発売されるなど、マイボトルの原型となっている。
21L00007	温度計	料理用温度計 5496B	株式会社タニタ	発売から30年以上愛用されている料理用温度計。家庭から業務用途まで、誰もが使える汎用性を備えている。
21L00008	ドライバー	ボールグリップドライバー	株式会社ベッセル＋株式会社ベッセル工業	1984年の発売以来、電気工事のプロに広く愛用され、現在もシリーズを拡充しながら販売を続けている。力を入れやすい大型グリップが、木ねじの締め込みや硬いねじの取り外しに効果的であるとともに、腰サックに収納しやすく取り出しやすいことも、選ばれる理由になっている。
21L00009	レコード MPカートリッジ	NAGAOKA カートリッジ MPシリーズ	株式会社ナガオカ	MPIはムービング・パーマロイの略で、マグネットの配置やカンチレバーの特性などを踏まえて最軽質量化を追求し、1970年中期にナガオカが独自に開発したレコードカートリッジである。画期的な技術により、レコード盤に刻まれた音声信号をより多く正確に引き出すことに成功し、今なお世界で販売され、愛されている。
21L00010	キャンプ用焚き火台	焚火台	株式会社スノーピーク	焚火台というジャンルの先駆けとなった製品。美しいデザインと修理の必要がないほどの頑丈さを兼ね備え、幅広いオプションも揃っている。料理も会話も楽しむ一生の相棒として、世代を超えて受け継がれ、多くの人々に愛される名品である。
21L00011	スニーカー	アディダスオリジナル スタンスミス	アディダス ジャパン株式会社	アディダスはサステナビリティへのコミットメント「END PLASTIC WASTE」に向け、2024年までにすべての製品においてバージンポリエステルを使用を廃止する。それにとともに、アディダス オリジナルスのアイコンともいえる本製品は、リサイクルポリエステル使用という目標を掲げ、サステナブルに生まれ変わる。
21L00012	扇風機	ザ・グリーンファン	バルミューダ株式会社	独自の技術によって自然界の風を再現する扇風機。大きく広がってゆっくりと移動する、夏の午後風の空気の流れを部屋の中に再現する。最小運転時わずか1.5Wの省エネ性能で、1日8時間、ひと夏使った場合の電気代は29円。さらに最小運転音は13dBで、ほとんど聞こえない静音性能など、使いやすさも備えている。
21L00013	スツール	メトロクス リキスツール	株式会社メトロポリタン	1965年に渡辺力によってデザインされた段ボール製のスツール。椅子としての十分な耐荷重を持ちながら、子供が積み木のように遊ぶことができるほど軽量である。組み立て・分解が簡単で、折りたたんでコンパクトに収納することもできる。公共施設やワークショップなどで広く使われている。



21L00014	商用車	ハイゼット	ダイハツ工業株式会社	1960年11月に商用車として発売され、約60年を経た現在も多くの人の仕事や生活に深く寄り添い、頼れるパートナーとして活躍し、愛され続けている。
21L00015	鉄道の運行異常時における旅客案内	異常時案内用ディスプレイ	株式会社日立製作所+東日本旅客鉄道株式会社	鉄道の運行情報を路線図で表示するデジタルサイネージ。悪天候時など、多くの遅延が発生しているときでも情報を一瞥でき、利用者はその運行情報が自分に関係があるか一瞬で判断することができる。利用者の状況把握を容易にすることで、駅員は障がい者などの案内が必要な人の対応に時間を割けるようになる。
21L00016	ショーウィンドウ	和光のショーウィンドウ	株式会社和光	和光が本館で営業を開始した1952年に、現在と同じ場所でスタートしたショーウィンドウは、69年目の今日も「銀座を訪れるすべての人をもてなすもの」と変わらぬコンセプトを掲げ、年10回ほどディスプレイを発表している。店の顔であると同時に公共性も重視し、銀座の街とともに歩み、休まず時を重ね続けている。
21L00017	家具ブランド	株式会社 石巻工房	株式会社石巻工房	2011年の東日本大震災を背景に、復旧・復興のために使える「地域のものづくりの場」として誕生した。2021年に10周年を迎え、現在はデザインの方でDIYの可能性を広げる家具ブランドとして、地域の活性化をめざしている。
21L00018	自転車	トーキョーバイク	株式会社トーキョーバイク	東京を走るためにつくられた自転車。自転車は移動の道具であると同時に、風景や空気の匂いを感じながら、日常にある新しい気づきを得ることができる乗り物である。便利な道具としてだけでなく、街を楽しむという切り口でデザインされている。
21L00019	コミュニティバス	ムーバス	武蔵野市	バス交通の空白・不便地域を解消し、高齢者や小さな子供連れの人をはじめとするすべての人々が、気軽に安全に街に出られることを目的とする一般乗合の小型バス。武蔵野市と民間バス事業者(2社)とで運行協定を締結して運行している。平成7年に最初の路線が運行開始し、現在は市内3駅を起終点として7路線9ルートを運行している。
21L00020	二次元コード	QRコード	株式会社デンソー+株式会社デンソーウェブ	「リーダーにとって読み取りやすいコード」を主眼に開発し、1994年に発表した。縦・横の2方向に情報を持つことで、1方向だけに情報を持つバーコードに対し、記録できる情報量を飛躍的に増加させた。
21L00021	遠隔教育	放送大学	放送大学学園	学力試験ではなく書類審査で入学でき、学費を抑えて学習できる開かれた大学である。BSテレビやインターネットなどで幅広い分野の授業を全国に向けて配信し、また全国各地の学習センターにおいて面接授業(スクーリング)を行うことで、遠隔での大学教育と生涯学習の機会を35年以上にわたって提供し続けている。
21L00022	国際客船ターミナル	横浜港大さん橋国際客船ターミナル	横浜市	建築空間全体の連続性を図り、税関、出入国管理、検疫所などは、国内船、国際船それぞれの入港時にフレキシブルな対応がおこなえる。棧橋の性格上、先端が袋小路になりがちなのを回避した動線処理、市民が多彩に利用できる屋上など、総じて抽象的な形態でありながら自然の形態にアナライズした革新的なデザインである。停泊する客船を引き立たせるとともに、施設自体もより魅力的な表情を見せている。